

# 令和5年度 定期作況報告

(7月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

## I 気象概況

6月下旬の平均気温は平年より3.3℃高く、降水量は平年の87%、降水日数は平年より0.6日少なく、日照時間は平年の152%であり、高温・多照に経過した。

7月上旬の平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は平年の20%、降水日数は平年より0.5日少なく、日照時間は平年の100%であり、高温・少雨に経過した。

7月中旬の平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の160%、降水日数は平年より1.1日多く、日照時間は平年の54%であり、高温・多雨・寡照に経過した。

6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年より1.8℃高く、降水量は平年の87%、降水日数は平年並で、日照時間は平年の99%であった。

気象表

(アメダス岩見沢)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下旬	21.1	17.8	3.3	27.5	22.8	4.7	15.8	13.8	2.0	28.5	32.7	△ 4.2	3.0	3.6	△ 0.6	79.6	52.5	27.1
7月	上旬	21.2	19.8	1.4	27.1	25.1	2.0	17.0	15.8	1.2	6.5	32.3	△ 25.8	3.0	3.5	△ 0.5	58.7	58.6	0.1
	中旬	21.9	21.2	0.7	26.5	26.6	△ 0.1	19.0	17.4	1.6	46.5	29.1	17.4	4.0	2.9	1.1	34.6	63.9	△ 29.3
平均(合計)		21.4	19.6	1.8	27.0	24.8	2.2	17.3	15.7	1.6	81.5	94.1	△ 12.6	10.0	10.0	0.0	172.9	175.0	△ 2.1

注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## II 作況

5月20日 平年並

事由: 播種は平年より2日遅い4月18日に行った。4月第5半旬は低温で経過したものの、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。出芽後は、5月第2～3半旬を除いて高温で経過した。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗形質は、草丈が10.8-10.9cmで平年よりやや長く、茎数は1.0本/個体で平年並であった。主稈葉数は3.2-3.5枚で平年よりやや多く、第1葉鞘高は2.6-2.9cmで平年並、100本あたりの地上部乾物重は2.31-2.49gで平年よりやや大きかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21-0.23で平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや良

事由: 移植直後の5月第5半旬は低温であったが、多照で経過したことから活着は良好であった。6月第1半旬は低温寡照に経過し、生育は緩慢となったが、6月第3半旬以降は高温多照に経過し、生育が回復したことから、草丈および主稈葉数はそれぞれ29.2-29.6cm、7.3-7.5枚で平年並、茎数は409-486本/m<sup>2</sup>で平年を上回った。

以上により、現在の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由: 6月中旬から7月上旬まで高温に経過し、幼穂形成期は平年より2～3日早く、止葉期は平年より4～5日早かった。主稈葉数は10.1-10.3枚で平年並であったが、草丈および茎数はそれぞれ83.1-85.5cm、717-816本/m<sup>2</sup>で平年を上回った。

以上により、現在の作況は、やや良である。

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
年次							
播種期	(月.日)	4.18	4.16	2	4.18	4.16	2
出芽期	(月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1
移植期	(月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1
幼穂形成期	(月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	7.01	△ 3
止葉期	(月.日)	7.13	7.17	△ 4	7.13	7.18	△ 5
出穂期	(月.日)		7.27			7.28	
成熟期	(月.日)		9.13			9.13	
穂揃日数	(日)		6.8			6.8	
登熟日数	(日)		48			47	
生育日数	(日)		150			150	
草丈(cm)	移植時	10.8	10.3	0.5	10.9	10.3	0.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.2	3.1	0.1	3.5	3.3	0.2
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.9	2.8	0.1	2.6	2.6	0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.31	2.22	0.09	2.49	2.22	0.27
地上部乾物重/草丈	移植時	0.21	0.22	△ 0.01	0.23	0.22	0.01
草丈	6月20日	29.2	28.0	1.2	29.6	28.0	1.6
(cm)	7月20日	83.1	67.0	16.1	85.5	66.6	18.9
茎数	6月20日	409	310	99	486	369	117
(本/m <sup>2</sup> )	7月20日	717	674	43	816	787	29
主稈	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
葉数	7月20日	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
(枚)	止葉	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
稈長	(cm)		65.7			64.1	
穂長	(cm)		15.9			16.6	
穂数	(本/m <sup>2</sup> )		642			751	
一穂粒数	(粒/本)		50.8			41.0	
粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )		32.6			30.8	
稈実歩合	(%)		94.5			93.9	
稈実粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )		30.8			28.9	
登熟歩合	(%)		89.0			86.8	
登熟粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )		29.0			26.7	
粒摺歩合	(%)		78.2			75.4	
屑米歩合	(%)		5.2			7.7	
精玄米千粒重	(g)		22.9			23.4	
わら重	(kg/a)		61.6			62.4	
精粒重	(kg/a)		75.1			73.6	
精玄米重	(kg/a)		58.7			55.5	
屑米重	(kg/a)		3.2			4.6	
収量平年比	(%)		100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

令和5年6月下旬～7月中旬までの概況は次のとおりである。

### 6月

下旬：最高気温が平年より5.1℃と非常に高く、平均気温は平年より3.4℃高かった。降水量は平年比123%、日照時間は136%であり、高温・多雨・多照であった。

### 7月

上旬：最高気温が平年より2.4℃高く、平均気温は平年より1.9℃高かった。降水量は合計3.5mmであり平年比12%、日照時間は平年比114%であり、高温、少雨・多照であった。

中旬：最低気温が平年より2.4℃高く、平均気温は1.5℃高かった。降水量は平年比160%、日照時間は51%であり、高温・多雨・寡照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より2.2℃高く、降水量は平年比98%と平年並、日照時間は平年の99%と平年並であり、高温であった。

## 気象表

道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下旬	20.5	17.1	3.4	26.9	21.8	5.1	15.9	13.7	2.2	39.5	32.1	7.4	3.0	3.1	△ 0.1	69.3	51.0	18.3
7月	上旬	21.0	19.1	1.9	26.5	24.1	2.4	17.2	15.5	1.7	3.5	28.6	△ 25.1	2.0	3.1	△ 1.1	61.0	53.5	7.5
	中旬	21.9	20.4	1.5	26.5	25.3	1.2	19.4	17.0	2.4	42.0	26.2	15.8	4.0	3.2	0.8	29.0	56.8	△ 27.8
平均(合計)		21.1	18.9	2.2	26.6	23.7	2.9	17.5	15.4	2.1	85.0	86.9	△ 1.9	9.0	9.0	0.0	159.3	161.3	△ 2.0

注1) 気象データはアメダス長沼。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。

注5) △は減を示す。

## II 作況

### 1. 秋まき小麦(令和4年播種)

令和4年10月20日作況：やや良

事由：播種期は平年より5日早い9月15日であった。播種後の気象は良好で、出芽期は平年より5日早い9月22日となった。10月20日現在で草丈は平年並で、茎数は平年より多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

令和5年5月20日作況：平年並

事由：越冬前後の茎数は平年より多かった。融雪期は平年より7日早く、積雪期間は113日で平年より3日短く、雪腐病による冬損程度は平年並であった。融雪期から4月中旬にかけて高温に経過したことから、生育は平年より早く進んでいる。5月20日現在の草丈はやや長く、分けつの無効化が進み、茎数はやや少なかった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和5年6月20日作況：やや良

事由：出穂期は平年より3日早い5月29日であった。6月20日現在の草丈はやや長く、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

令和5年7月20日作況：やや良

事由：6月第6半旬の降雨により軽微な倒伏が発生した。平年より高温に経過したことにより、成熟期は平年より4日早い7月14日となった。成熟期における稈長および穂長は平年よりやや長く、穂数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名		きたほなみ		
		本年	平年	比較
項目	年次			
播種期	(R4.月.日)	9.15	9.20	△ 5
出芽期	(R4.月.日)	9.22	9.27	△ 5
出穂期	(R5.月.日)	5.29	6.1	△ 3
成熟期	(R5.月.日)	7.14	7.18	△ 4
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.5	0.3	0.2
草丈 (cm)	R4.10.20	19.1	20.1	△ 1.0
	R5.5.20	59.6	55.8	3.8
	R5.6.20	101.4	99.0	2.4
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	R4.10.20	1014	828	186
	越冬前(11月)	1890	1318	572
	越冬後(4月)	3023	2159	864
	R5.5.20	1318	1425	△ 108
	R5.6.20	951	861	90
成熟期に おける	稈長 (cm)	95	89	6
	穂長 (cm)	9.4	9.0	0.4
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	876	809	68
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.7	1.0	△ 0.3
子実重	(kg/10a)		747	
容積重	(g)		814	
千粒重	(g)		38.2	
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値:前7か年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 春まき小麦

5月20日作況：やや不良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年より7日早い3月20日であった。播種期は平年並の4月14日であった。播種後に降雨が続き、土壌がクラスト状となったため、出芽がばらつき、出芽期は平年より3日遅かった。5月上旬以降の平均気温は概して平年並で経過したが、出芽期が遅かったことから、草丈、茎数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況：やや不良

事由：平均気温は平年並からやや高く経過し、出穂期は平年より2日遅れとなった。6月中旬は少雨のため圃場が干ばつ気味となり、6月20日現在の草丈は平年よりやや短く、茎数は概ね平年並であるものの、主茎と分げつ茎との生育差がやや大きい。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況：やや不良

事由：7月20日現在の穂長はやや長いですが、稈長は平年よりやや短く、穂数は平年より少ない。期間中の降雨と日照は適度であったため、赤かび病の発生は皆無で倒伏の発生は認められていないが、開花後の気温が非常に高かったことから、登熟期間が短くなるおそれがある。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	春よ恋			はるきり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	4.14	4.14	0	4.14	4.14	0
出芽期 (月.日)	5.01	4.28	3	5.02	4.29	3
出穂期 (月.日)	6.17	6.15	2	6.16	6.14	2
成熟期 (月.日)		7.28			7.31	
草丈 (cm) 5月20日	19.6	22.5	△ 2.9	21.3	25.1	△ 3.8
(cm) 6月20日	75	83	△ 8	77	83	△ 6
茎数 (本/m <sup>2</sup> ) 5月20日	395	708	△ 313	338	636	△ 298
(本/m <sup>2</sup> ) 6月20日	653	688	△ 35	699	692	7
7月20日 稈長 (cm)	85	90	△ 5	81	87	△ 6
または 成熟期 穂長 (cm)	9.0	8.5	0.5	8.6	7.7	0.9
の 穂数 (本/m <sup>2</sup> )	388	474	△ 86	431	484	△ 53
子実重 (kg/10a)		503			558	
千粒重 (g)		41.2			45.5	
容積重 (g)		830			831	
品質 (等級)		1等			1等	
子実重平年対比 (%)		100			100	

注) 平年値: 前7か年中、平成28年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均。

### 3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年より4日早い5月17日であった。播種後降雨があったため順調に出芽し、出芽期は平年より4日早い5月29日であった。主茎長はやや長く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月中旬以降高温に経過したことから、開花期は平年より4日早い7月12日であった。主茎長は平年より長い、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.17	5.21	△ 4
出芽期	(月.日)	5.29	6.2	△ 4
開花期	(月.日)	7.12	7.15	△ 3
成熟期	(月.日)		9.29	
主茎長 (cm)	6月20日	11.7	10.6	1.1
	7月20日	56.7	42.5	14.2
	8月20日		54.7	
	9月20日		54.5	
	成熟期		54.3	
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	3.0	0.4
	7月20日	9.7	9.3	0.4
	8月20日		9.8	
	9月20日		9.7	
	成熟期		9.7	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.1	6.2	△ 0.1
	8月20日		6.7	
	9月20日		6.5	
	成熟期		6.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日		75.6	
	9月20日		67.2	
	成熟期		68.3	
一莢内粒数			1.83	
子実重	(kg/10a)		406	
百粒重	(g)		38.9	
屑粒率	(%)		2.0	
品質	(等級)		2上	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。



#### 4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年並の5月24日であった。出芽期は平年より3日早い6月7日であった。6月20日現在の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや良

事由：期間を通して気温は平年より高く、適度な降水があったことから、生育は早く進んでいる。開花期は平年より8日早い7月18日であった。7月20日現在の主茎長は平年より長く、主茎節数は多く、分枝数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.24	0
出芽期	(月.日)	6.07	6.10	△ 3
開花期	(月.日)	7.18	7.26	△ 8
成熟期	(月.日)		9.19	
主茎長 (cm)	6月20日	3.9	4.7	△ 0.8
	7月20日	20.3	16.9	3.4
	8月20日		57.9	
	成熟期		61.1	
主茎節数 (節)	6月20日	2.1	1.4	0.7
	7月20日	10.2	7.3	2.9
	8月20日		14.8	
	成熟期		14.5	
分枝数 (本/株)	7月20日	3.0	2.4	0.6
	8月20日		3.6	
	成熟期		4.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日		44.0	
	成熟期		51.8	
一莢内粒数			6.10	
子実重	(kg/10a)		338	
百粒重	(g)		14.0	
屑粒率	(%)		6.3	
品質	(等級)		3上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、令和2年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数の平年値は平成30年も除いた4カ年平均。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況: 平年並

事由: 本年の根雪終(融雪剤無散布)は平年より8日早い3月23日で、植付期は平年より5日遅い4月28日であった。植付期以降の平均気温は概ね平年並であり、5月20日現在で一部萌芽は始まっているが萌芽期には至っていない。

以上により 現在の作況は平年並である。

6月20日作況: 平年並

事由: 萌芽期は平年より4日遅い5月25日であったが、平均気温は平年並からやや高く経過したことから、開花始は平年より2日遅い6月19日であった。茎数は平年よりやや少ないが、茎長は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況: 平年並

事由: 6月下旬以降高温で経過し、適度な降雨もあり、順調に生育している。7月20日現在で茎数はやや少ないが、茎長は平年並である。既に茎葉の黄化が始まっているが、疫病等の主要病害の発生は認められていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期 (月.日)		4.28	4.23	5
萌芽期 (月.日)		5.25	5.21	4
開花始 (月.日)		6.19	6.17	2
枯凋期 (月.日)			8.19	
茎長 6月20日 (cm)		37	38	△ 1
7月20日		43	45	△ 2
茎数 6月20日 (本/株)		4.2	4.7	△ 0.5
7月20日		4.4	4.8	△ 0.4
8月20日における				
上いも数 (個/株)			12.1	
上いも平均一個重(g)			87	
上いも重 (kg/10a)			4656	
でん粉価 (%)			15.4	
枯凋期における				
上いも数 (個/株)			12.3	
上いも平均一個重(g)			90	
上いも重 (kg/10a)			4819	
中以上いも重(kg/10a)			4081	
でん粉価 (%)			15.2	
上いも重平年対比 (%)			100	
中以上いも重 " (%)			100	
でん粉価 " (%)			100	

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和4年(最豊)を除く5か年平均ただし、枯凋期は二次成長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。